

企業名：MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：保険（損害保険、生命保険、金融サービス業） ● 事業概要：三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、三井住友海上あいおい生命などのグループ保険会社を有する保険持株会社 ● 事業規模：連結純資産（2兆7,344億円）、連結従業員数（40,641名）
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標：2050年度に2009年度比で70%削減 ・ オフィスでの節電取り組み、自社ビルでの高効率機器（空調、照明機器等）への切替えや再エネ設備の導入、社有車のエコカー導入促進とエコ安全ドライブの推進 <p><Scope 3の削減に向けた取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物削減、リサイクルの推進（自動車保険における自動車修理時のリサイクル部品利用推進）、効率的な勤務体制・営業活動（在宅勤務制度、TV会議の推進等）、印刷物・紙削減（eco保険証券・Web約款）、保険代理店との協働（エコアクション21の認証取得の支援、エコ整備・エコ車検の普及）等に取り組む。

企業名：MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 <p>基準年：2009年度</p> <p>スコープ1：27% (31,523[tCO₂])</p> <p>スコープ2：73% (85,230[tCO₂])</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1： 31,523[tCO₂]
	<p>※ 当社は金融機関であり、現時点では金融セクターのスコープ3はメソロジーが固まっていないため、Scope 1, 2の割合のみを記載しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2： 85,230[tCO₂]
	<p>※ 上記数値は、2010年度以降に実施した海外企業の買収影響を考慮したものではありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3： [tCO₂] (任意) <p>目標の対象セクター： 金融</p>

企業名：MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社は、経営理念に「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」を掲げ、ステークホルダーの皆さまに対して継続的に価値を提供していくことを重要な役割と考えています。社会の変化を捉え、社会的課題の解決に貢献していくことを常に意識しつつ、気候変動により社会に発生する新たなリスクに挑戦していく必要があると考えています。 ● 気候変動の影響で世界的に自然災害が増加・大型化し、これまでにない巨大な災害が発生する可能性が高まっています。自然災害に密接に関わる保険事業者にとって、支払保険金の増加が懸念されます。一方、リスクソリューションを提供する事業者として、気候変動に対応する商品・サービスの提供に取り組んでいます。最新の洪水被害予測モデルに基づく分析、防災・減災取組等を推進しています。 ● 気候変動による災害がお客さまにもたらす被害や損失をなくす、軽減するための適切なサービスを提供することで気候変動への適応を進めると同時に、保険やコンサルティングによって気候変動の緩和につながるニュービジネスを支えます。 <p>(参考：http://www.ms-ad-hd.com/csr/earth/protect.html)</p>
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険・金融サービス事業を通じて環境問題の解決に貢献すると同時に、自らの事業活動に伴う環境負荷を低減することも重要な社会的使命と考えています。当社は、2015年12月にCOP21（気候変動枠組条約第21回締約国会議）で採択された「パリ協定」に賛同し、気候変動・地球温暖化に対応するため「パリ行動誓約」に署名しています。この署名を踏まえ、これまでの2020年度目標に加え、グループ全体の2050年CO2排出量削減目標を策定しました。 ● 国内外でESGに注目する投資家が増えており、企業の持続可能な成長力が問われています。自らの事業活動に伴う環境負荷を低減することを示し、グローバルに事業を展開する保険・金融グループとして、持続可能な社会の形成に貢献するとともに、企業価値向上につなげていきたいと考えています。

企業名：MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社は、パリ協定やそれを実現するためのパリ行動誓約への賛同署名を踏まえ、2015年度に2050年度70%削減目標（2009年度比：Scope 1, 2 対象）を設定しました。グローバルに事業を展開する保険・金融グループとして、国際情勢や日本政府の目標を鑑み、目標設定したものです。 ● 上記目標を踏まえ、当社は2016年3月にSBT設定にかかるコミットメントレターを提出しました。現時点において、金融セクターはSBT設定のメソロジーが確立されておらず、SBTイニシアチブが認めるSBTは設定できないということを改めて確認しました。Scope 1, 2 を対象とした2050年度70%削減目標（2009年度比）については、SBTを満たす水準であり、CO2 排出量削減に向けて、引き続き取組んでいくことを確認しました。 ● なお、COP21で各国が自主目標を掲げつつ適宜見直していく「プレッジ&レビュー(誓約と評価)」方式を採用したことに倣い、当社グループにおいても、国内外の動向やグループの組織構成など社内外の情勢変化に応じて適宜見直していくこととしています。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● CO2排出削減に向け、さらなる省エネ取組みと再エネの活用検討が必要だと考えます。 ● 金融セクターのScope3算定メソロジーの策定動向を注視し、対応していきたいと考えます。